

番付の心理

日本人とはどういふものであらう。一言に
いへば、おおかた型通りで、なにとも
適當の出来上りで、少くも二の絛があがつて
いると言つたり、芸者衆にてもわかりかはや
い説明であらう。日本人の外観は、どうも正
満ではなく、おでこで額が張り、肌いろは
にごつて、やにがたまり、あるいは貧相で

瘦せて、そそげ立ち、女なら塗粉でこまかせ
るが、男では、雨垂にさらされて、筋の立つ
た板目のように、洗えば黒い汁がながれそ
う、おおよそ人類のなかでも見た目がわるい。
どうしたことが、僕は、その日本人にうまれ
あはせた。これだけは、宿命というより他は
言ひようがない。それから、外形をさてをき
いて、日本人の心といふものを考え、みる
と、その心は、貧乏をとりつくろおうとし、
おのれを必かし、松のようにはかりみあつて、
繁